構造工学論文集Vol. 72A (2026年3月)　〇〇〇 土木学会

欧文タイトルは，**先頭の1文字および固有名詞の初めの文字のみ大文字**として下さい．下の例では，J, S, Eは固有名詞として大文字です．また，「全角文字」は使用しないで下さい．

上マージン20mm

MS-Wordファイルで原稿を作成する方は，このテンプレートを必ず用いて下さい．原稿の作成前・作成中は，必ずチェックシートを確認して下さい．

*（1行あける）*

左マージン20mm

ゴシック14pt

10pt

構造工学論文集の完全版下投稿和文原稿

の作成例

原稿区分が「論文」の場合は〇〇〇を削除してください．区分が報告，総説，委員会報告の場合は，〇〇〇をそれぞれ，報告，総説，委員会報告に置き換えてください．

タイトルが2行にわたる場合，「段落」の「間隔」の「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックを取って下さい．

*(1行あける)*

Instruction for A4 size camera ready copy for

欧文姓名は，Given, Family Nameの順とし**姓も名前も先頭の1文字のみ大文字**として下さい．欧文著者間は，**全て半角カンマ＋半角スペースで区切って下さい．**

Journal of Structural Engineering

タイトルには，**「特殊文字，機種依存文字，ギリシャ文字，“～”」**などの文字は使用しないで下さい．

*(1行あける)*

土木太郎\*，構造花子†，工学二郎\*\*

Taro Doboku, Hanako Kozo, Jiro Kougaku

*(1行あける)*

\*土木大学，工学研究科土木工学専攻博士前期課程（〒160-0004東京都新宿区四谷1丁目）

†工博，建設大学教授，工学部建設システム工学科（〒160-0004東京都新宿区四谷1丁目）

\*\*博（工），構造大学教授，大学院工学研究科構造工学専攻（〒160-0004東京都新宿区四谷1丁目）

*(1行あける)*

This file shows the instruction to prepare the manuscript of Journal of Structural Engineering. You must prepare your manuscript carefully according to this instruction. Please use the A4 size format. The number of pages and the size of your manuscript file must not exceed 14 pages and 10 MB, respectively. The top, left and right margins are 20mm, and the bottom margin is 25mm. The line spacing must be single. The abstract should not exceed 10 lines (approximately 120 words) and should be followed by 3 or 4 keywords. The left and right margins of the abstract are 25 mm wider than those of the text of the article.

アブストラクト部・キーワード部の左右マージンは本文よりも25mm余分に

アブストラクト部・キーワード部の左右マージンは本文よりも25mm余分に

*Keywords: use italic for keywords,* *use gothic for the title, abstract format (do*

*not exceed 10 lines), A4 size*

*キーワード：キーワード表記法，タイトル表記法，アブストラクト体裁*

*(10行は超えないで下さい)，Ａ４判*

Times-italic 10pt

*(2行あける)*

明朝（斜体） 10pt

ゴシック10 pt

1. タイトル部分のレイアウト

*(1行あける)*

明朝10pt

タイトルページのフォーマットはこの作成例に従って作成して下さい．ページはA4サイズとし，1行目左側に「構造工学論文集Vol. 72A (2026年3月)」（報告や総説，委員会報告の場合には，全角スペース1文字の後に，報告や総説，委員会報告と明記して下さい），右端に「土木学会」と10 ptの文字を使用して記載して下さい．

和文のタイトル文字にはゴシック体14 ptを使用します．以下，欧文タイトル，著者名，所属を記してください．連絡著者（論文等への質問に対して責任を持って回答できる著者，1名）のE-mailアドレスを1ページ左下に明朝体10ptまたはTimes 10 ptの文字を使用して作成して下さい．このレイアウトでは，第2著者が連絡著者の場合を例示しています．また，連絡著者には\*ではなく†を付して下さい．なお，次節に示すタイトルに関する注意事項を遵守して下さい．タイトル，著者名，所属はいずれも中央揃えとして下さい．

左側に2.06mmの空きあり

アブストラクトは所属の下1行あけてTimes 10 ptの英文で，10行もしくは120 words程度を超えない長さで記載して下さい．アブストラクト部・キーワードの左右マージンは本文部分の左右マージン( 20 mm )よりも25 mm程度余分にとって下さい．キーワードは英字，日本語の両方を3, 4個記載し，それぞれTimes-italic 10 ptおよび明朝（斜体）10 ptの文字を使用して下さい（2行にわたる場合は，インデントして下さい）．

**初回投稿時および修正原稿投稿時はページ番号および行番号を付す**

†連絡著者 / Corresponding author

E-mail: hanako@kensetu.ac.jp

*(1行あける)*

ゴシック10 pt

1.1 タイトルに関する注意事項

タイトルには，「特殊文字，機種依存文字，ギリシャ文字，“～”」は使用しないで下さい．なお，Microsoft Word利用時に，タイトルが2行にわたり行間隔が広くなる場合は，「段落」→「間隔」の「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックを取ることで，行間隔を狭くすることができます．

また，欧文タイトルは，先頭の1文字および固有名詞の初めの文字のみ大文字として下さい．例えば上の例では，J, S, Eは固有名詞として大文字です．また，「全角文字」は使用しないで下さい．

右マージン20mm

(1) 著者名に関する注意事項

ゴシック10 pt

欧文姓名は，姓も名前も先頭の1文字のみ大文字として下さい（姓をすべて大文字にしないで下さい）．

下マージン25mm

*(1行あける)*

2. 本文のレイアウト

*(1行あける)*

本文は，上に指示するマージンの内側に，総幅52文字を25文字＋スペース2文字＋25文字の2段，50行で作成するものとします．文字フォントに関しては，次節3に示す章，節，項の見出しはゴシック体10 ptで記載し，

1行あける

本文に用いる文字サイズは，明朝体10 pt，及び算用数字についてはTimes 10 ptとします．

*(1行あける)*

3. 見出し（見出しが1行以上に長くなる場合には，この例のように折り返して下さい）

*(1行あける)*

見出しのレベルは章，節，項の3段階までとして下さい．それぞれの番号には，4. 章の番号 4.1 節の番号 (1) 項の番号のようにゴシック体を用いて指定して下さい．章の見出しは，その上下に1行あけ，節の見出しは，その上にのみ1行あけることを原則とします．ただし，ページや段が切り替わる部分は，見出しが最上部に来るように調整して下さい．

1行あける

*(1行あける)*

4. 数式および数学記号

*(1行あける)*

数式および数学記号は次の式 (1a)

　　　　　　(1a)

　　　　　 (1b)

のように本文とは独立している場合でも，*Cd*，(*z*)のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成して下さい．本文中の数式および数学記号は，そのサイズを本文の文字と同等のものとして下さい．式はセンタリング，式番号は右揃えとして下さい．

*(1行あける)*

5. 図，写真および表

*(1行あける)*

図表は，原則として，それらを最初に引用する文章と同じページにおき，直接本文中に描画することを原則とします．また，図表は，ページの右上または左上にまとめて，図が文章の間にはさまらないような配置として下さい．

表は，例えば表－1とし，表のタイトルとともに表の上に表示し，図は，例えば図－1とし，図のタイトルとともに図の下に表示して下さい．図，写真および写真の番号，およびタイトルは，それぞれ明朝（またはTimes）10 ptの黒色で記載して下さい．図・写真および表の本体はカラーでもかまいません．

*(1行あける)*

6. ページ番号および行番号

*(1行あける)*

初回投稿時には，査読の利便性を考慮して，ページ番号および行番号を付して下さい．MS-Wordファイルで原稿作成する場合は，右段の行番号が一部表示されない場合がありますが，PDFに変換すると右段の行番号も表示されます．修正原稿投稿時には，修正対応確認の利便性を考慮してページ番号および行番号を付すとともに，修正箇所を赤字にして下さい．

*(1行あける)*

7. 委員会報告

*(1行あける)*

委員会報告は，第1章の最後に，「本委員会報告は〇〇小委員会の成果の一部を報告するものである．」のように記載し，研究小委員会名を明示してください．

*(1行あける)*

謝辞

ゴシック10 pt

表－1 表の作成例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 試験体番号 | 板厚(mm) | 板幅 (mm) |
| 1 | 12 | 100 |
| 2 | 15 | 200 |



図－1 図の作成例

謝辞を記載する場合には結論の後に記載して下さい．タイトル「謝辞」はゴシック体10 ptで記述し，謝辞の内容は明朝体（またはTimes）10 ptで記載して下さい．

*(1行あける)*

ゴシック10pt

付録

*(1行あける)*

本文は参考文献で終わるものとし，付録を置く場合には，参考文献の前に置いて下さい．最終ページは，2段組の両側の高さをなるべく同じ高さとして下さい．参考文献は1)この例のように，上付き右括弧付き文字で指定します．参考文献の最後に論文の投稿受付締切日である2025年9月1日受付と両括弧をつけて下さい．さらにその下に2026年\*\*月\*\*日受理と両括弧をつけて下さい．

*(1行あける)*

ゴシック10pt

参考文献

1. Gibson, L. J. and Ashby, M. F.: The mechanics of cellular materials, *Proc. Roy. Soc. Lond.* A382, pp.43-59, 1982.
2. Vitter, J. S. and Chen, W. C.: *Design and Analysis of Coalesced Hashing,* Oxford University Press, New York, 1987.
3. Y. C. ファン（大橋義夫，村上澄男，神谷紀生共訳）：固体の力学／理論，培風館，1970.
4. 日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会：“高性能鋼の概要（橋梁向け）”, 日本鉄鋼連盟ホームページ，https://www.jisf.or.jp/info/book/documents/HighPerformanceSteel(ForBridgeConstrunction).pdf（参照2023. 4. 27）.

*(1行あける)*

（2025年9月1日受付）

明朝10pt

（2026年\*\*月\*\*日受理）

10pt

論文の投稿受付締切日である（2025年9月1日受付）と受理日欄（2026年\*\*月\*\*日受理）を記入して下さい．

最終ページの左右の段落はできるだけそろえて終わる